



# L C D スピードメーター・タコメーターキット 取扱説明書

商品番号 : 09 - 01 - 3301  
: 09 - 001 - 05 (メータステ - セット)  
適応車種 : Ape50 / 100  
フレーム番号 : AC16 1000001 ~ (50)  
: HC07 1000001 ~ (100)

・この度は、TAKEGAWA の製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。ご使用になられる前に必ずこの説明書をお読み頂き、内容を把握下さいます様お願い致します。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## 正しく安全にご使用頂くために

取り付け前に商品の内容をご確認下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い求め頂いた販売店にご相談下さい。  
このキットはベーツタイプヘッドライト(09 - 03 - 0743)又は、汎用ヘッドライトキット(09 - 03 - 072)取り付け車専用品です。ノーマルヘッドライトでは取り付け出来ませんので、ご注意下さい。  
スパークプラグは必ず抵抗入りプラグを使用し、ハイパーC.D.Iを除いて、他の点火系部品との併用はなさないで下さい。タコメーターが正常に作動しなくなります。  
当キットに付属している温度センサーを使用する場合、S - S T A G E ボアアップキット取り付け車はシリンダーに取り付けることが可能です。(センサー形状は、当社製油温計(07 - 04 - 0011)と同形状になっています。)又、オイルドレンボルトアダプター、オイルクーラーホース(内径8mm)用アダプター(07 - 04 - 0521)の使用が可能です。  
この製品はノーマルトップブリッジ及び当社アルミトップブリッジ(06 - 02 - 006)に取り付け可能です。  
取り付け要領は、ノーマルトップブリッジで説明しています。  
性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。  
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。  
この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。  
キック始動時の不安定電圧によるメーターの誤作動を防ぐ為、約1000rpm以下では、液晶表示の電源がONにならない仕組みになっています。(LED照明は点灯します)そのため、エンジンが始動した場合でも、アイドル回転数が1000rpm以下の場合は、液晶表示の電源がONにならないので、アイドルストップスクリューでアイドル回転数を調整して下さい。  
エンジンの回転数が高回転(約11000rpm付近)で、数値に乱れが起こる場合があります。この場合、別売りハイパーC.D.I 07 - 02 - 19を取り付けますと回転数値が安定します。  
当LCDメーターは、下記の事に注意してご使用下さい。  
・表示部に使用している液晶の性質として、長時間直射日光を受けると液晶画面が黒くなります。なるべく液晶部分に直射日光が当たらないように気を付けて下さい。万が一変色した場合は、メーター本体を直射日光から避け、冷やして下さい。また、真夏等強い直射日光下で長時間放置した場合は、シミのような後遺症が残る等故障が生じる可能性がありますので、特に気を付けて下さい。  
・本商品は完全防水ではありません。湿度の高い状態でご使用になりますと、本体内に水分が浸入して画面が曇ってしまう可能性があります。曇ってしまった場合は、メーター本体裏面の配線コード取り出し部のゴムキャップを手前にずらし(配線を無理に引っ張らないよう慎重に行ってください)、隙間を作り水分を乾燥させて下さい。

## ～ヘッドランプバルブやテールバルブの球切れにご注意下さい～

イブはヘッドランプなどのワット数の多いバルブが切れますと消費出来ない電力分、電気系全体での電圧が上がってしまい、他のバルブに負担を与えます。そのままにしておきますと過電圧で球切れを起こしてしまいます。LCDメーター内のLED夜間照明も電圧が上がった場合に過電流が起こりショートしてしまう恐れがあります。(LED夜間照明修理不可能)  
ランプへの配線を遮断するだけの簡易ON/OFFスイッチはOFFすると上記同様バルブ切れの状態になりますので絶対に取り付けないで下さい。

## ～特 徴～

スピードメーターはオドメーター、トリップメーター付き。デジタル表示で250km/hまで測定出来ます。  
タコメーターは精度の高い電気式でデジタル表示を採用し、油温計を標準装備。最高表示回転数30,000rpm、最高表示温度150。  
メーター本体は高級感のあるクロームメッキ仕上げとし、ラバースタンプ式により振動低減させています。

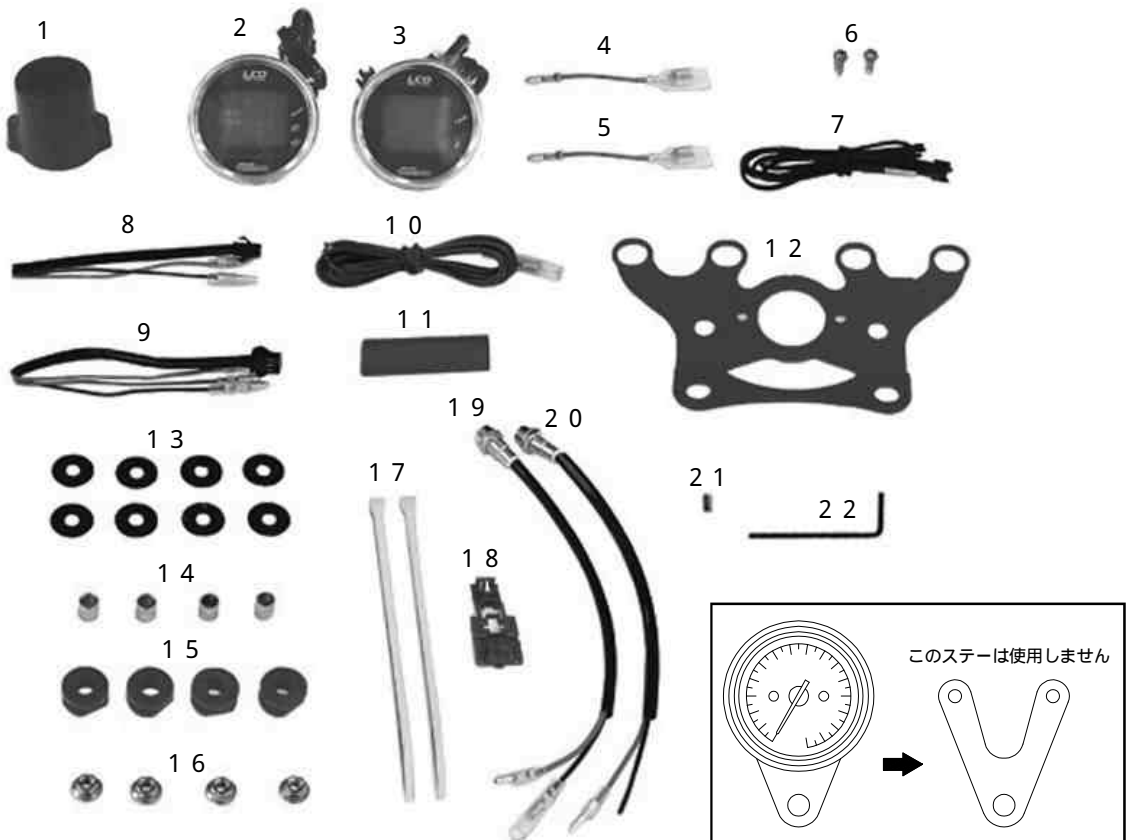
**⚠ 注意** 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・取り付け作業は、必ずエンジン冷間時（35℃以下）に行ってください。エンジンやマフラーが冷えていない状態で作業を行った場合、火傷の原因となります。
- ・作業を行う際は、安全に十分注意し作業に適した工具を用いて行って下さい。
- ・各ボルト、ナット類は必ずトルクレンチを使用し、指定トルクで締め付けて下さい。
- ・本品には運転者に注意を促す速度警告灯がついておりませんので、速度超過には十分注意をし、安全運転を行ってください。
- ・走行前は、必ず各部の取り付け状態を点検し、緩み等が無いかを確認して下さい。又、走行中異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常箇所の点検を行ってください。

**⚠ 警告** 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

～ 商 品 内 容 ～



番号	商品内容	数量	番号	商品内容	数量
(1)	コンビネーションスイッチカバー	1	(12)	メーターステー	1
2	55LCD スピードメーター	1	(13)	プレーンワッシャ 5×18	8
3	55LCD タコメーター	1	(14)	カラー	4
(4)	サブコード(黒)	1	(15)	クッションラバー	4
(5)	サブコード(緑)	1	16	フランジ六角ナット 5mm	4
(6)	タッピングスクリュー 4×12	2	(17)	インシュロックタイ	2
7	温度センサー	1	(18)	エレクトロタップ	1
8	2Pスピードメーターコード	1	(19)	LEDニュートラルインジケータランプ	1
9	3Pタコメーターコード	1	(20)	LEDターンインジケータランプ	1
10	ピックアップコード(ハイテンションコード用)	1	21	止めネジ 3mm	1
11	熱収縮チューブ	1	22	Lレンチ	1

( )の番号はメーターステ - セットの内容を示します。

## ～ 取 り 付 け 要 領 ～

1. メーターステーにクッションラバー 4 個を取り付け、カラーをクッションラバーにそれぞれ差し込みます。

2. タコメーターのネジ部にブレンワッシャ 5 × 1 8 を入れメーターステー右側にタコメーターを取り付けます。クッションラバー裏側よりブレンワッシャ 5 × 1 8 を入れ、フランジ 6 角ナットを取り付け、指定トルクで締め付けます。

トルク：5 N・m ( 0.5 kgf・m )

3. スピードメーターネジ部にブレンワッシャ 5 × 1 8 を入れメーターステーにスピードメーターを取り付けます。クッションラバー裏側よりタコメーター同様にブレンワッシャを入れフランジ 6 角ナットを取り付け、指定トルクで締め付けます。

トルク：5 N・m ( 0.5 kgf・m )

4. メーターステーにニュートラルインジケータランプ、ターンインジケータランプをそれぞれ取り付け、締め付けます。

締めすぎに注意して下さい。

5. コンビネーションスイッチカバーの切り欠き部が右斜め下になる様タッピングスクリューでカバーを取り付けます。ノーマルライトケースよりコンビネーションスイッチを取り外し、ロックの爪が掛かるまでスイッチをスイッチカバーに差し込みます。ライトケースよりコンビネーションスイッチを取り外す場合、細目のドライバー等で 2 箇所ロックの爪を内側に押しながらスイッチを抜き取って下さい。

6. トップブリッジ裏面のハンドルローホルダーのナットを外します。

7. メーターステーをハンドルローホルダーのネジ部分に取り付け、ナットで締め付けます。

トルク：3.4 N・m ( 3.5 kgf・m )

8. スピードメーター、タコメーターのそれぞれの黒コードをサブコード ( 緑 ) に接続します。サブコード ( 緑 ) をヘッドライトケース内のワイヤーハーネス緑コードに接続します。

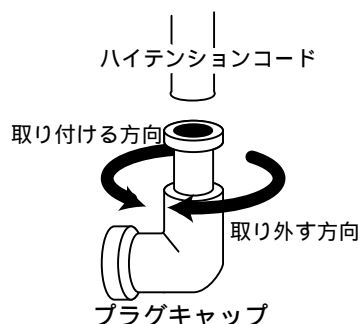
9. スピードメーター、タコメーターのそれぞれの赤コードをサブコード ( 黒 ) に接続します。サブコード ( 黒 ) をヘッドライトケース内のワイヤーハーネス黒コードに接続します。

10. ターンインジケータランプの黒コードをヘッドライトケース内のワイヤーハーネス灰コードにエレクトロタップを用いて接続します。赤コードをワイヤーハーネス黒コードに接続します。エレクトロタップは 6 P カブラーのメインハーネス側に接続して下さい。

11. ニュートラルインジケータランプの黒コードをヘッドライトケース内のワイヤーハーネス若葉 / 赤のコードに接続します。赤コードをワイヤーハーネス黒コードに接続します。

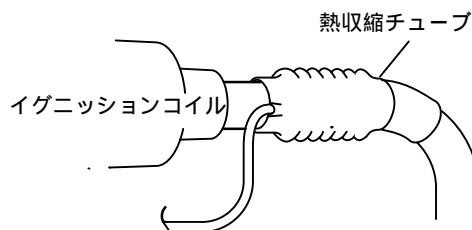
12. タコメーターの茶コードにピックアップコードを接続し、イグニッションコイルまで取り回します。ピックアップコードをハイテンションコードのイグニッションコイルに近い所に 7 周巻き付け、絶縁テープ等で配線がたるまないように固定して下さい。あとで熱収縮チューブを通しますので、テープは 1 周巻きぐらいにし、巻き過ぎて太くならないように注意して下さい。

13. ハイテンションコードからプラグキャップを外します。



14. テープで配線を巻いている部分に熱収縮チューブを通し、ドライヤー等で熱しチューブを収縮させて下さい。チューブの収縮温度は 90 以上で、約 50% の内径まで収縮します。

警告：タンクにガソリンがあり、大変危険ですので、ライターなどの火を使いチューブを収縮させることは絶対に止めて下さい。



15. プラグキャップを取り付けます。

16. 温度センサーを使用する場合。

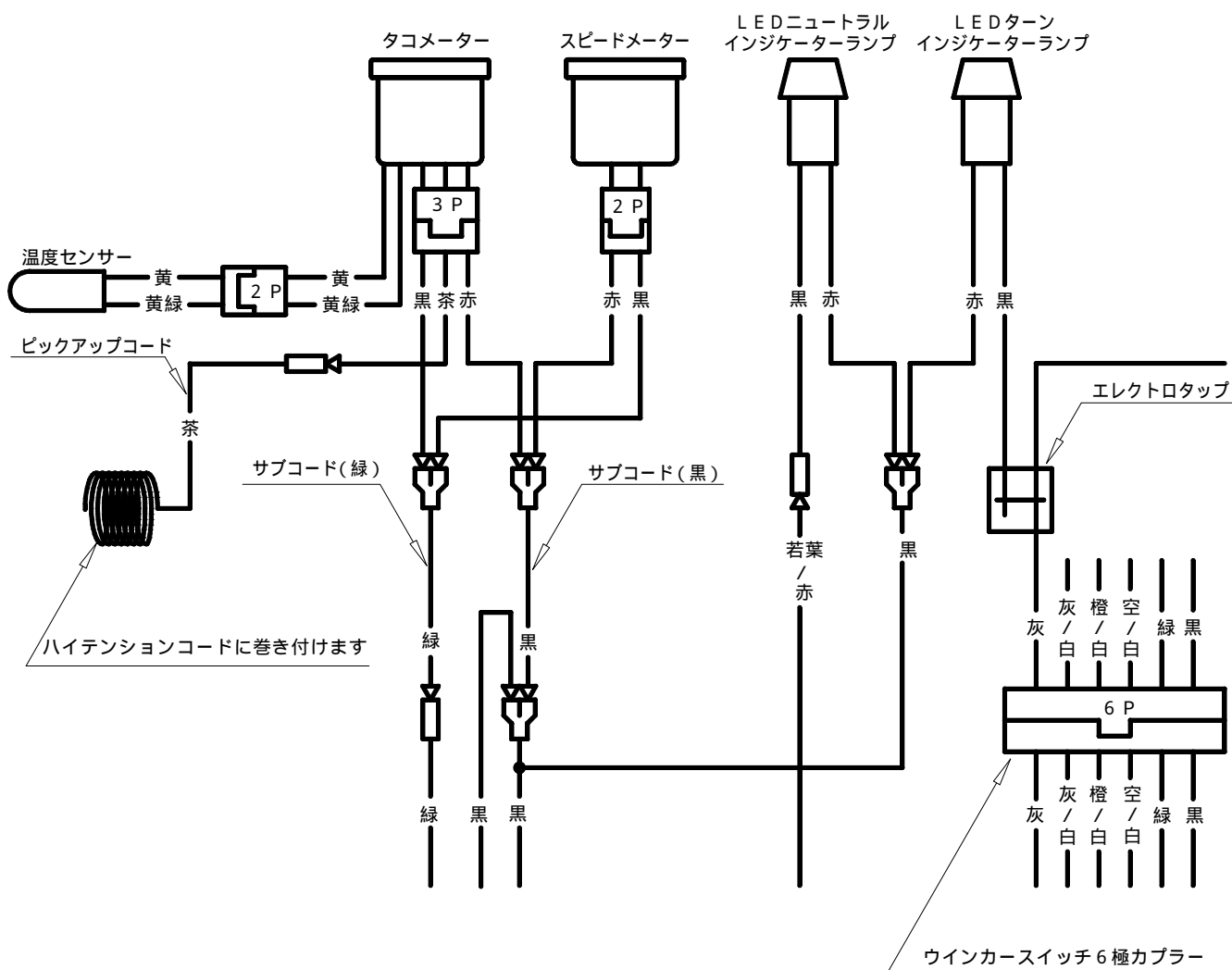
( 使用しない場合は次へ進んでください。 )

温度センサーのスティック部分を所定の場所に取り付け、LCD タコメーターの 2 極カブラーまで取り回し、接続します。S - S t a g e 取り付け車で、シリンダーにて温度管理される場合は、止めネジにてスティック部分を固定して下さい。たるんだ線は運転に支障がないようにインシュロックタイを用いて固定します。

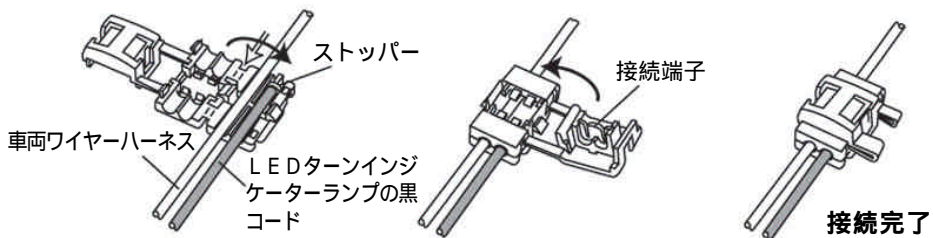
17. ヘッドライトユニットを取り付けます。スピードメーターケーブルを接続します。エンジンを始動し各ランプの点灯状態とタコメーターの作動を確認し、問題が無ければ安全な場所で低速走行を行いスピードメーターの作動を確認して下さい。

警告：必ず換気の良い場所でエンジンを始動させて下さい。

~ LCDスピードメーター、タコメーター配線図 ~



~ エレクトロタップのご使用について ~



接続しようとするコードをそれぞれエレクトロタップの溝に合わせ、位置決めをし(LED側の配線をしっかりストッパーに当てて下さい。)

部分から折り返して下さい。これでコードが仮止めされます。

次に接続端子がついている方を折り返して下さい。プライヤーなどで完全にロックするまでしっかりと押さえて下さい。

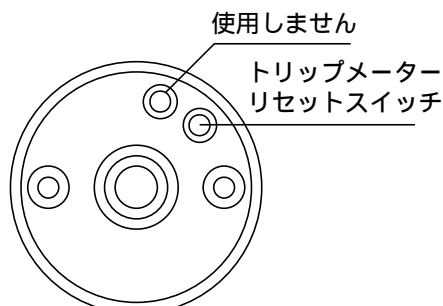
株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号  
TEL 0721 25 1357  
FAX 0721-24-5059  
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857  
URL <http://www.takegawa.co.jp>

## 各部の名称と操作方法



例) 画面はスピードメーター時速46 Km、オドメーター326 Km、トリップメーター326.4 Km、



[トリップメーターリセットスイッチ]を押すと、トリップメーターの走行距離が「0」に戻ります。オドメーターをリセットすることは出来ません。

## ご注意ください

液晶の性質として、長い時間、直射日光を受けると画面が真っ黒になってしまいます。

なるべく液晶部分に直射日光が当たらないよう気を付けて下さい。万が一、黒くなってしまった場合は、メーター本体を直射日光から避け、冷やして下さい。しばらくすると正常に戻りますが、真夏などの強い直射日光下で長時間放置した場合はシミのような後遺症が残るなどの支障が生じる可能性がありますので、特にお気を付け下さい。

本製品は完全防水ではありません。

湿度の高い状態に置きますと本体内に水分が浸入し画面がくもってしまう可能性があります。もし、くもってしまった場合はメーター本体裏面の配線コード取り出し部のゴムキャップを手前にずらし(配線を無理に引っ張らないよう慎重に行ってください)、隙間を作り水分を乾燥させて下さい。

## バッテリー - 付き車両ご使用に関する注意点 モンキー、ゴリラ、KSR110

STDメーターの照明用の茶コードへのプラスコード接続は絶対に行わないで下さい。

LCDメーターの電源用コードの色はプラス側が黒コード、マイナス側が緑コードです。LCDメーターの黒コードは速度警告装置が接続されていた車両ワイヤーハーネスの黒コードへ接続して下さい。

茶コードはエンジン回転数により周波数、最大電圧の変わる交流電源です。LCDメーターに使用すると、LED夜間照明のショートや誤作動など、メーターとしての機能に支障をきたす恐れがありますので絶対に接続しないで下さい。

正しい配線ではメインキーONでメーターの電源が入ります。

エンジン始動に伴い、メーター電源が入る場合は配線が間違っています。

正しい配線でも充電能力の無くなったバッテリーを使用しますと、過電圧になりLED夜間照明がショートし点灯しなくなるなどの恐れがあります。(LED夜間照明修理不可能) 定期的にバッテリー点検をして下さい。

## エイプ用ご使用に関する注意点

ヘッドランプバルブやテールバルブの球切れにご注意下さい。

エイプはヘッドランプなどのワット数の多いバルブが切れますと消費出来ない電力分、電気系全体での電圧が上がってしまい、他のバルブに負担を与えます。そのままにしておきますと過電圧で球切れを起こしてしまいます。LCDメーター内のLED夜間照明も電圧が上がった場合に過電流が起こり、そのまま使用し続けると、LEDの寿命が短くなるばかりでなく故障してしまう恐れがあります。

ランプへの配線を遮断するだけの簡易ON/OFFスイッチはOFFにすると上記同様バルブ切れの状態になりますので絶対に取り付けしないで下さい。

## アイドリング回転数にご注意

エイプでキック始動時の不安定電圧によるメーターの誤作動を防ぐ為に約1000rpm以下では表示の電源がONにならない仕組みを採用しております。(LED照明は点灯します)

そのため、エンジンが始動していても、アイドリング回転数が前記よりも低い場合は電源がOFFになります。そのような場合アイドルストップスクリューでアイドリング回転数を調整して下さい。

モンキー、ゴリラはバッテリーを電源に使用するためエンジン回転に関係なくメインキーONでメーター電源もONになります。



本製品はデジタル回路を使用した精密機械です。誤ったご使用は故障の原因となります。ご使用前に必ず取り扱い説明書を一通りお読み下さい。